

平成19年度決算の概要

平成20年11月7日
東北森林管理局

平成19年度の国有林野事業については、森林の公益的機能の維持増進、地球温暖化防止対策に積極的に取り組むとともに、財政の健全化を図りつつ改革の着実な推進に努めた結果、収入765億65百万円に対し、支出は747億57百万円となり、平成19年度の収支差は+18億8百万円となったところである。

1. 収 支

(収 入)

収入は、前年度より133億51百万円増の765億65百万円となった。

- ① 林産物等収入は、林産物の計画的販売に努めた結果、前年度より1億87百万円増の49億62百万円となった。
林野等売払代は、住宅着工戸数の減少や土地需要の減退等の厳しい状況の中で、積極的な資産処理に努めた結果、前年度より1億46百万円増の14億46百万円となった。
- ② 一般会計より受入は、集中豪雨、台風等による災害被災地等の再度災害防止事業等の補正追加を実施したことに伴い、新たに事業費財源受入れを計上したこと、また、地球温暖化防止対策の積極的な推進による事業施設費受入れの増加等から前年度より69億64百万円増の339億16百万円となった。
- ③ 借入金は、4年連続して新規借入金をゼロとした。

(支 出)

支出は、前年度より105億46百万円増の747億57百万円となった。

- ① 人件費は、職員数の適正化及び経費の節減に努め、前年度より8億29百万円減の122億23百万円となった。
- ② 事業的経費は、地球温暖化防止等に資する森林整備の推進及び再度災害防止事業の補正追加を実施したこと等により、前年度より30億39百万円増の137億66百万円となった。
- ③ 治山事業については、集中豪雨、台風等により災害被災地等の再度災害防止事業の補正追加を実施したこと等により、前年度より23億50百万円増の84億19百万円となった。

2. 損 益

間伐木原価の取扱いの変更などにより、損益計算上の損失は前年度より28億3百万円減少の61億62百万円となった。

問い合わせ先

東北森林管理局総務部経理課
経理課長 松橋 和夫
秋田県秋田市中通五丁目9-16
TEL 018-836-2070

収 支 状 況

東北森林管理局

(単位：百万円)

収 入		19年度	18年度	増 減
科 目				
事業収入		6,408	6,075	333
林産物等収入		4,962	4,775	187
林野等売払代		1,446	1,300	146
財産貸付料等収入		943	950	△7
雑収入		124	363	△239
国有林野事業雑収入		124	363	△239
治山事業雑収入			0	0
一般会計より受入		33,916	26,952	6,964
事業施設費財源		15,315	10,275	5,040
公益林等保管理費財源		4,669	5,149	△480
利子財源		4,353	4,491	△138
治山事業費財源		9,579	7,037	2,542
地方公共団体工事費負担金収入		569	576	△7
前年度剰余金受入		-	79	△79
借入金		34,605	28,219	6,386
新規借入金		0	0	0
借換借入金		34,605	28,219	6,386
合 計		76,565	63,214	13,351

支 出		19年度	18年度	増 減
科 目				
人件費		12,223	13,052	△829
定員内職員給与等		7,621	8,571	△950
林野基幹作業員給与等		4,602	4,481	121
事業的経費		13,766	10,727	3,039
森林整備費		11,453	8,215	3,238
事業費		2,313	2,512	△199
利子・償還金		38,575	32,679	5,896
借入金利子		3,965	4,451	△486
償還金		34,610	28,228	6,382
交付金等		1,774	1,684	90
治山事業		8,419	6,069	2,350
合 計		74,757	64,211	10,546

収 支 差	1,808	△997
-------	-------	------

- 注) 1 収入は販売契約額等により、支出は支払義務の生じた額を計上している。
 2 金額は、それぞれの科目で四捨五入しているので合計額とは必ずしも一致しない。

損 益 計 算 書 の 要 旨

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

東北森林管理局

(単位：百万円)

費 用				収 益			
科 目	19年度	18年度	増 減	科 目	19年度	18年度	増 減
経 営 費	7,877	10,830	△2,953	売 上 高	5,024	4,828	196
治 山 事 業 費	10,158	7,684	2,474	林 野 等 売 払 収 入	1,446	1,300	146
一般管理費及販売費	3,450	3,826	△376	財 産 貸 付 料 等 収 入	943	950	△7
減 価 償 却 費	6,352	5,924	428	一 般 会 計 より 受 入	17,364	15,197	2,167
支 払 利 子	3,024	3,120	△96	森 林 保 全 経 費 等 財 源 受 入	4,669	5,150	△481
資 産 除 却 損	420	649	△229	治 山 事 業 費 財 源 受 入	9,578	7,029	2,549
雑 損	355	234	121	利 子 財 源 受 入	3,117	3,018	99
				地 方 公 共 団 体 工 事 費 負 担 金 収 入	569	576	△7
				雑 収 入	124	363	△239
				前 年 度 剰 余 金 受 入	0	79	△79
				雑 益	5	9	△4
				小 計	25,475	23,302	2,173
				本 年 度 損 失	6,162	8,965	△2,803
合 計	31,636	32,267	△631	合 計	31,636	32,267	△631

- 注) 1 「経営費」については平成19年度から、間伐木の費用計上の会計処理については、主伐木の費用計上と同様の方法から間伐収入より販売費及び製造費を控除した額を費用計上する方法に変更した。
 なお、当該変更に伴い、従来と同一の方法による場合と比べ、経営費は2,731百万円少なく計上されている。
- 2 「治山事業費」は、直轄治山事業に従事した職員の人件事務費である。
- 3 「減価償却費」は、工作物・建物等の償却資産の減価償却費（当年度に費用化された額）である。
- 4 「資産除却損」は、土地の売却等による固定資産の帳簿価格の減少額である。
- 5 「売上高」は、林産物等の販売契約額である。
- 6 「雑収入」は、利子収入、土地及び宿舍貸付料等である。
- 7 金額は、それぞれの科目で四捨五入しているので合計額とは必ずしも一致しない。

貸借対照表の要旨
(平成20年3月31日現在)

東北森林管理局

(単位：百万円)

借 方				貸 方			
科 目	19年度	18年度	増 減	科 目	19年度	18年度	増 減
流動資産	351	420	△69	借入資本	195,204	195,675	△471
現金預金等	11	135	△124	流動負債	36,836	39,284	△2,448
未収金・延納金	194	218	△24	未払金等	4,208	4,673	△465
棚卸資産	146	67	79	短期借入金	32,628	34,611	△1,983
固定資産	1,611,644	1,602,825	8,819	固定負債	158,368	156,391	1,977
土地	83,803	84,007	△204	長期借入金	158,368	156,391	1,977
立木竹	1,491,207	1,479,050	12,157	自己資本	1,143,240	1,126,630	16,610
建物その他の資産	36,634	39,768	△3,134	固有資本	4,453	4,453	0
繰越欠損金	74,546	65,581	8,965	資本剰余金	1,138,787	1,122,177	16,610
本年度損失	6,162	8,965	△2,803	他 局	354,259	355,486	△1,227
合 計	1,692,703	1,677,790	14,913	合 計	1,692,703	1,677,790	14,913

- 注) 1 平成19年度から、間伐木の費用計上の会計処理については、主伐木の費用計上と同様の方法から間伐収入より販売費及び製造費を控除した額を費用計上する方法に変更したことにより、従来と同一の方法による場合と比べ、立木竹の平成19年度末価額は2,731百万円多く計上されている。
- 2 債務残高 190,996百万円 (長期借入金 158,368百万円+短期借入金 32,628百万円) (平成18年度191,002百万円)
- 3 建物その他の資産の減価償却累計額 337,126百万円 (平成18年度 331,264百万円)
- 4 金額は、それぞれの科目で四捨五入しているため合計額とは必ずしも一致しない。